二階堂たけふみ市政報告

発行：二階堂たけふみ後援会　http://nikaidou.net
福島市町庭坂字内町51－2　TEL024－591－1138

いよいよ4月1日より中核市に移行

3月定例会議の一般質問の報告

初めに、4月1日からの中核市移行に伴う近隣自治体との広域連携について、この間、進めてきた「福島圏域首長懇話会」の運営を今後どのように考えていくのか、木幡市長に見解を伺いました。

駅西口の安全安心について

昨年9月に発生した西口駅前コンビニでの強盗事件や軽犯罪の発生について、地域から不安の声が出ています。市の見解と、地元から上がっている西口駅前交番（仮称）の必要性について質問。木幡市長が答弁に立ち、今までより一歩踏み込んだ答弁をいただきました。

次に、インバウンド推進プロモーション事業の具体的な中身について、さらに一昨年7月から民営化され積極的にビジネス展開している仙台空港について、福島市との関連について質しました。

上水道の統合計画について

上水道未普及地域の解消推進について、今回の南林簡易水道組合と林ノ内水道組合の統合協定締結について経緯と課題を伺いました。

水道局長からは、「福島市平成30年1月に両組合と上水道への統合契約を締結、平成32年12月の統合を目指すこととなりました。今後は、平成30年度から3カ年の計画で配水管等の施設整備を行うほか、各組合員との詳細協議を重ねながら↙

主張

公共施設の戦略的再編と新庁舎西棟、議場建設の視点

公共施設の戦略的再編と新庁舎西棟、その核となる議場の建設について考えます。

行政視察の折に、全国各地の議会議場を見学させていただき、福島も仮の議場から卒業したいものとしみじみ感じます。議員だからかもしれません。

視点を変えて、4階の市長応接室に飾られた歴代の市長の方々の肖像画を前にしたとき、木幡市長の脳裏にはどんな思いがよぎるのでしょうか。

それは、単なる装飾品ではなく、先輩から現役へ、同じく重責にある市長にだけ聞こえてくる励ましや、時には勇気をいただく場合もあるのではないでしょうか。市長室や議場という場において市長は市長なりに、議員は議員なりにそれぞれ背負うべきものの重さに気づかされる瞬間があると思います。それが初心に返らせ、市政発展への使命感に火をつけ、福島を変えていくエネルギーともなるのではないでしょうか。

片肺飛行という言葉があります。まさしく二元代表制の原点に議場もきちんと位置づけて考えなければならないと思います。

仮設の議場で7年目。今までの歴史の中で振り返るとき、厳粛な中で議員の自覚と使命感を高め、二元代表制の一翼として市政発展につなげていくため、議場の整備は公共施設の戦略的再編とは別の課題と思います。この仮設議場は、7年間の震災、原発事故という未曽有の緊急事態対応でした。市長と議員、それぞれ4年の任期ですが、市制施行111年の長い視点で捉えたとき、議会人を育て、二元代表制を名実ともに生かすためにも、議場の整備は迅速に進めなければならないと思います。

↙統合の準備を進めます。今後の課題については、新たに整備が必要となる配水管等の整備費用、また財政状況との整合を図りながらの推進となるため、施設整備に長期間を要することなどです。

なお、簡易水道組合側の課題といたしましては、老朽化した施設の維持管理が挙げられるほか、上水道への切りかえに要する宅内給水管などの費用の確保と聞いております」

最後に、今年1月28日に吾妻地区消防団OB連絡協議会の設立総会が開かれましたが、今後の消防団OBなどによる機能別消防団制度の導入についてこれからの道筋、「新時代消防団計画」との関係を伺いました。現状、新時代消防団計画策定までの間も、手弁当で地域の安心安全のために活動している地域の消防団OB組織に対して支援を要望して質問を終わりました。

須川橋下の護岸整備が完了

以前から須川橋下流の護岸整備要望が出され、平成16年7月に地元の呼びかけが実を結び、国・県・地元合同で危険個所を視察。その直後、8月の台風9号の接近で大雨・洪水警報が発令され、須川橋下流の護岸が約50m浸食されました。災害復旧工事として、今年3月には工事が完成。ところが、現地を確認すると、川の蛇行を生んだ中州が約半分残されたまま。繰り返さないために、県北建設事務所を伺い、中州をなくして護岸の補強と河床整正をお願いしました。梅雨入り前の6月1日、工事が完了しました。

遠原公園北側入口のスロープ化

「遠原公園では、町内の高齢者約20名が、毎朝7時からラジオ体操をやっています。多くの方が出入りする北側入口は狭い上、道路からの段差があり危ないので改善を！」望む声が届きました。現地で調査後、公園緑地課を伺い、安全対策をお願いしました。6月27日にスロープ化の改修工事が完了した旨の報告をいただきました。

庭坂霊園の市道側溝整備

庭坂霊園の中央を走る市道は、幅員が狭く雨水側溝がありません。「大雨や雪解け時ともなれば、付近の住宅に水が軒下まで流れ込み酷い状態。また、墓参りに訪れる人も増え、是非、雨水側溝を」の声が高まり、平成28年5月には関係者の現場立ち合いが実現。これを契機に、事態が動き出しました。平成28年度の自治振要望書の提案、年度内の測量・設計の実施。今年1月下旬には、桝と14mの雨水側溝等が完成。今後、残り部分は継続事業に。

大笹生地区市道の倒木処理

4月13日に、大笹生地区の方から電話。『生愛会』北側の市道で、「倒木3本が道を塞ぎ通行止めの状態だが、5月には先にある古峯神社の祭があり、参拝者が早く通行できるようにしてほしい」とのことでした。

翌朝、現場へ向かい確認後、市役所の道路保全課に相談。翌々日には、「本日午後、作業をします。地域からも連絡が入っていました」との報告。写真は次の日の夕方です。

吾妻中ナイター設備修理工事が終了

昨年秋、「吾妻中の夜間照明設備が半分くらい壊れていて、暗くてグランドが使えない」と相談がありました（この夜間照明施設の団体利用は、市の「学校施設開放事業」の一環です）。

現地調査の翌日、教育委員会保健体育課を伺い、地域の実情と修理についてお願いしました。幸い、今年3月には工事が完了。4月からの開放受付が再開できました。